



しあわせ信州

長野県(林務部)プレスリリース 令和7年(2025年)5月9日

「ツキノワグマ出没注意報」を長野地域に発出します

4月の里地でのツキノワグマの目撃件数が、長野地域で平常年の1.5倍以上と増加しており、クマの移動が活発になっていることから、皆さんに改めて注意していただき、人身被害を回避するため、長野地域を対象に「ツキノワグマ出没注意報」を発出します。

クマ出没注意報の発出期間

令和7年5月9日(金)から令和7年6月30日(月)まで

対象区域 長野地域

(長野市・須坂市・千曲市・坂城町・小布施町・高山村・信濃町・飯綱町・小川村)

※北信地域は「ツキノワグマ出没注意報」を継続
(令和7年4月10日(木)～6月30日(月))

里地でのクマ目撃件数(4月)

長野地域 9件(長野市7件、信濃町1件、飯綱町1件)

北信地域 9件(飯山市5件、山ノ内町1件、木島平村3件)

＜クマ出没注意報の発出基準＞(該当する基準)

- ・里地での目撃件数が月単位で平常年の1.5倍以上
上記を基準に専門家の意見を基に発出

クマによる人身被害発生状況

令和7年度(5月8日現在)：4件 6名

(令和6年度：12件 13名)

県民の皆様へのお願い ～初夏のクマに注意～

クマが食べ物を求めて集落付近に近づいてくる時期です。

別紙「県民の皆様へのお願い 初夏のクマに注意!」をご参照ください。

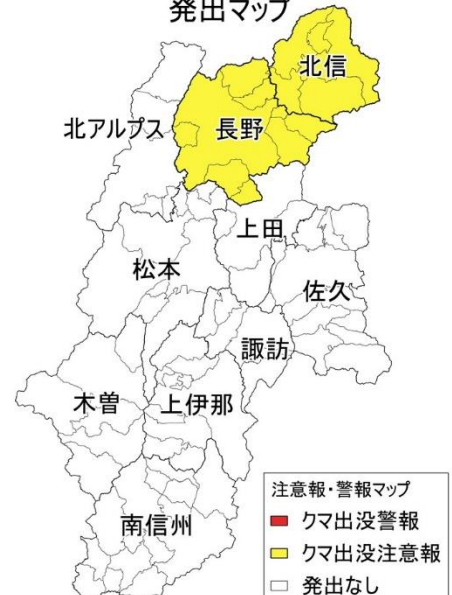
注意報を発出していない地域の皆様も、人身被害を防ぐため引き続きご注意ください。

【参考：長野県ホームページ】

クマの目撃件数、出没(目撃)情報および出没マップ

<https://www.pref.nagano.lg.jp/shinrin/sangyo/ringyo/choju/joho/kuma-map.html>

ツキノワグマ出没警報・注意報
発出マップ



長野県産木材のある穏やかな
暮らしをマークにしました



長野県産木材ロゴマーク &
キャッチフレーズについては
こちらから➡



つなぐ木のいのち

NAGANO WOOD PRODUCT

(問合せ先)

担当 森林づくり推進課鳥獣対策係
宮坂、田淵

電話 (直通) 026-235-7273
(代表) 026-232-0111 (内線) 3264

F A X 026-234-0330

電子メール choju@pref.nagano.lg.jp

初夏のクマに注意！

○ クマの行動範囲が広がり、集落での目撃が増えてくる時期です

生ごみ等、人には利用価値がないものもクマにとっては、栄養価の高い食べ物です。

集落に引き寄せる原因にもつながりますので、長時間屋外に放置しない様にしましょう。

(クマの誘引物 生ごみ、残飯、廃油、油性塗料、燃料など)

○ 山菜採りは周囲の確認をしながら

・クマは草や木の芽を好んで食べるため、山菜採りで遭遇する可能性があります。山菜採りに熱中するあまり周辺への注意力が散漫にならないよう注意が必要です。

・特にネマガリタケの採取は見通しが悪い状況となり、クマとばったり遭遇する危険があります。クマ鈴やラジオを過信せず、複数人で行動するなど周囲に十分気をつけましょう。

○ 親子グマに注意を

母クマは、子グマを1～2頭連れている可能性があり、子グマを守るために、神経質になっています。母クマの姿が見えなくても、そばにいる可能性が高いため、近寄ることは大変危険です。

クマと遭遇しないよう下記のことにご注意してください。

◇ 朝夕の行動は避ける

朝夕はクマが活発に活動します。この時間帯に山中に入ることは避けましょう。

◇ 周囲の確認をする

山菜(ネマガリタケ含む)はクマの好物です。山菜のある場所には、クマもいる可能性があります。

特に溪流沿いは、水の音でクマも人もお互いの気配を感じず接近してしまうことがありますので注意が必要です。(釣りをを行う際は特に注意しましょう)

◇ クマのいる場所に近づかない

山中はクマの生息地で、どこにいてもおかしくありません。クマの足跡や糞などを見つけたら、それ以上近づかずに引き返しましょう。

◇ 笛、ラジオ、鈴の携帯を

クマは聴覚や嗅覚が人より優れています。人の気配を感じたクマは自ら避けてくれます。

笛、ラジオ、クマ避け鈴など音の出る物を携帯しましょう。

◇ 子グマを見たら立ち去る

子グマの近くには必ず母クマがいます。母クマは子グマを守るために、人へ攻撃することがあります。子グマを見かけたら、そのままそっと立ち去りましょう。

◇ 犬は連れて行かない

人の気配を感じたクマは、身を隠して人をやり過ごそうとしますが、一緒にいる犬に吠えられるなどして驚いたクマが、人へ攻撃をする場合があります。犬を連れて山中へ入るのはやめましょう。

◇ 不意の遭遇に備えて

注意をしてもクマと遭遇してしまった場合、ヘルメットを着用していると頭部の被害を軽減できます。